

第24回エコヘルス研究会

24th RIHN Ecohealth Seminar

主催：地球研「熱帯アジアの環境変化と感染症」プロジェクト
(通称：エコヘルス・プロジェクト 代表：門司和彦)

<http://www.chikyu.ac.jp/ecohealth/>

日時：2009年3月30日(月) 17:00~18:30

会場：総合地球環境学研究所・研究室11

17:00~18:30(発表+質疑応答)

「ラオス北部山地部の焼畑村における森林景観の形成」

広田 勲(京都大学大学院農学研究科 博士課程)

要旨：ラオス北部山地部における森林景観は、焼畑休閑林が大部分を占めている。休閑林には多くの動植物が生育し、これらは陸稲が不作だったときのセーフティネットとして働いてきたことが指摘されている。しかし調査の結果、近年の休閑期間の短縮によって、休閑林の植生が萌芽更新性の樹種と種子更新性の先駆種に限定されていることが明らかになってきた。さらに、近年タケが拡大していることがわかったが、それは1990年代前半にタケが一斉開花したときに、森林伐採などにより、樹冠の開いた広大な林地にタケが一気に更新した結果である可能性が示唆された。すなわち、焼畑休閑地の森林植生は、必ずしも長い年月をかけて徐々に変化してきたものではなく、一定の条件がそろったときに一気に変化した可能性があることがわかった。また一方で焼畑村には、面積としてはわずかであるが、山地斜面の谷の部分には水辺林が存在している。これらの水辺林は、これまで焼畑ができない土地として残されてきたり、森林伐採の規制により水源涵養林として残されてきたという経緯がある。水辺林における植生調査の結果、焼畑休閑林とはまったく森林の構造や樹種が異なること、またそれらの中には材として貴重な樹種が含まれていることがわかった。本発表では、これらの事実を踏まえて、ラオス北部山地部の森林景観が近年どのように形成されてきたのか、また、休閑林や水辺林という環境が村人にとってどのような意味があるのかについても述べたい。

- ・研究会終了後、地球研周辺にて懇親会を予定しております。
- ・どなたでもご参加いただけます。
- ・研究棟内(要ID)でおこないますので、所外のかたは事前に連絡いただくか、職員用入口にて手続き願います。

交通案内：

・車・タクシーでお越しの方は
国際会館より府道40号線で二軒茶屋方面へ。

・JR京都駅より

地下鉄烏丸線で「国際会館」下車。
国際会館駅3番又は4-1番出口より国際会館駅前
バス乗り場「2」から京都バス40系統(京都産業大
学前ゆき)に乗車(所要6分)し、「地球研前」下車。

・京阪沿線より

出町柳で叡山電鉄鞍馬線に乗換え、「二軒茶屋」
下車。徒歩10分。

お問い合わせ先：辻 貴志

総合地球環境学研究所

「熱帯アジアの環境変化と感染症」プロジェクト

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4

Tel. 075-707-2498 Fax.075-707-2106(代)

Email. ecohealth-rihn@hotmail.com

